

資料 1

総務常任委員会資料

# 芸術文化の振興について

令和5年7月18日

県 民 生 活 部  
芸 術 文 化 課

## <目 次>

### 1 芸術文化の創造と普及

- (1) 人材の育成と顕彰・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (2) 多彩な芸術活動への支援や鑑賞機会の提供・・・・・・・・ 5
- (3) 協働と連携による芸術文化の推進・・・・・・・・・・・・ 8

### 2 芸術文化施設の運営

- (1) 兵庫陶芸美術館の運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- (2) 県立芸術文化センターの運営・・・・・・・・・・・・・・ 12
- (3) 県立尼崎青少年創造劇場(ピッコロシアター)の運営・・・・ 14
- (4) 県立美術館王子分館の運営・・・・・・・・・・・・・・ 16
- (5) 兵庫県民会館の運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

# 1 芸術文化の創造と普及

令和3年3月に策定した「第3期芸術文化振興ビジョン」を踏まえ、芸術文化活動に対する支援や、優れた芸術文化の鑑賞・体験機会を提供することにより「芸術文化立県“ひょうご”」の実現に向けて芸術文化の創造と普及を図る。

## (1) 人材の育成と顕彰

### ア 各種顕彰 (6,762千円)

#### (7) 兵庫県文化賞等四賞(文化賞、科学賞、スポーツ賞、社会賞)の表彰

県民文化の高揚、科学技術の向上、スポーツの発展及び明るい地域社会づくりに顕著な貢献をされた個人又は団体を表彰する。

(表彰式) 開催日：令和5年11月(予定) 場 所：兵庫県公館

(受賞件数) (単位：件)

表 彰 名	制定年度	～R3	R4	合 計
文 化 賞	S23	447	5	452
科 学 賞	S32	268	4	272
ス ポ ー ツ 賞	S39	354	3	357
社 会 賞	S47	148	3	151
合 計		1,217	15	1,232

#### (4) ともしびの賞の表彰(制定年度：S50)

地域において郷土文化の向上に貢献し、その活動と功績が顕著な個人又は団体を表彰する。

(表彰式) 開催日：令和5年11月(予定) 場 所：兵庫県公館

(受賞件数) (単位：件)

	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	合 計
～R3	143	89	80	69	85	75	87	97	94	94	913
R4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	20
合 計	145	91	82	71	87	77	89	99	96	96	933

#### (5) 芸術奨励賞の表彰(制定年度：H5)

芸術分野における創作活動で優れた業績をあげ、かつ、将来一層の活躍が期待される新進・中堅の芸術家等を表彰する。

(表彰式) 開催日：令和5年11月(予定)

場 所：兵庫県公館

(受賞件数) (単位：件)

～R3	R4	合 計
149	3	152



【R4年度表彰式の様子】

## イ ひょうごアーティストサロンによる芸術活動支援 (8,554千円)

### (7) ひょうごアーティストサロンの運営

専門の芸術文化コーディネーターがアドバイス等を行うサロンを設置し、県内の新進・若手芸術家の要望に応じた活動を支援する。

- ・開設場所 兵庫県民会館 1階
- ・相談体制 コーディネーター2名配置、水・日を除く週5日 10時～17時
- ・相談内容 公募展出品やコンクール参加などステップアップへの支援  
広報活動や助成金申請などの助言  
異分野との交流の場の提供、イベント等の情報発信 等
- ・相談実績 239件 (R4)

### (4) 新進・若手アーティスト等の育成

兵庫県民会館でのロビーコンサート、ギャラリーでの美術作品展の実施等、多様な活動発表の場を紹介することで支援を行う。

場 所	事 業 内 容	実施状況 (R4)	
		回数	鑑賞者数
県 民 会 館	サロン内展覧会	6回	1,367人
	特別展 (1Fギャラリー)	2回	1,192人
	兵庫県美術作家交流展	1回	555人
	ロビーコンサート	12回	871人
	新進芸術家リサイタルシリーズ	10回	1,245人
そ の 他	県内芸術家ロビーコンサート	6回	362人
	さわやかステージ(県関係行事)	15件	—

## ウ リモートを活用した中高生への活動支援 (1,458千円)

中高生を対象に、県下の文化団体の芸術家からリモートで専門的なレッスンを受ける機会を提供する。

- ・対 象 者 県内の中学生、高校生
- ・内 容 吹奏楽、合唱のリモートレッスン (1校あたり6時間まで)
- ・実施方法 県域文化団体等への補助
- ・補助金額 実施校数×54千円(謝金単価6千円×6時間+旅費等18千円)
- ・R 4 実績 15校

## エ 伝統文化の担い手育成(伝統文化担い手育成事業) (10,400千円)

### (7) 伝統文化ふれあい広場の開催

関係文化団体の協力のもと、様々なジャンルの伝統文化の魅力を展示や実演、体験コーナーなどにより県民に紹介する。

- ・開 催 日 令和6年3月9日～10日 (予定)
- ・場 所 兵庫県公館
- ・内 容 能・狂言等の実演  
いけばな等の体験コーナー  
展示ブースなど



【子どもたちのいけばな体験】

### (イ) 子ども伝統文化わくわく体験教室

県下の文化団体が講師を学校に派遣して伝統文化を体験する教室を実施することで、子どもたちが日本の伝統文化に興味を抱く機会を提供する。

- ・対象者 小・中・高校の児童・生徒
- ・内容 いけばな、茶道、書道、琴、日本舞踊、能・狂言の体験教室  
(各校2～3回実施)
- ・実施方法 県域文化団体への補助
- ・補助金額 (2回開催の学校数)×12万円+(3回開催の学校数)×16万円(上限)
- ・R4実績 61校

## (2) 多彩な芸術活動への支援や鑑賞機会の提供

### ア 県内の芸術家への助成(芸術文化に親しむひょうご推進事業)(8,040千円)

県内を拠点とする芸術家の活動を支援するとともに、県下各地で身近に芸術文化に親しむことのできる環境の充実を図る。

- ・対象者 県内に拠点を有し、一定の芸術文化活動経歴を有する個人・団体
- ・対象事業 音楽、演劇、舞踊等の舞台芸術の公演、美術作品等の展示、メディア芸術の発表、文芸・美術作品出版事業
- ・補助金額 <対象経費50万円以上> 25万円、 <同30～50万円未満> 15万円  
<同20～30万円未満> 10万円、 <同15～20万円未満> 7万円  
<同10～15万円未満> 5万円、 <同6～10万円未満> 3万円
- ・R4実績 69件

### イ ふるさとの芸術文化活動を推進(ひょうごのふるさと芸術文化活動推進事業)(13,200千円)

芸術文化団体等が実施する事業を支援し活動の活性化を図ることにより、県民の芸術文化の鑑賞・発表の機会を増やし、芸術文化活動のすそ野を広げる。

区分	県域文化団体の活動支援		ふるさと文化の伝承・ 発信サポート事業
	芸術文化事業	アウトリーチ事業	
対象者	県域または県内の広域的な地域を対象に流派を超えて組織された文化団体		地域住民等が参画する芸術文化団体、実行委員会等
対象事業	美術、音楽、演劇等の芸術文化活動	芸術文化の体験活動	地域の文化資源を生かした地域住民が実施する伝統芸術文化活動
補助金額	補助率1/2 (上限30万円)	補助率1/2 (上限12万円)	<対象経費15万円以上> 15万円 <同10万円以上15万円未満> 10万円
R4実績	29件	4件	9件(継続)
備考			最長3年事業補助、新規採択終了

#### ウ (拡) 県民芸術劇場ブラッシュアップ事業 (35,442千円)

青少年と一般向けに優れた舞台芸術の鑑賞体験機会を提供するとともに、公立文化施設の活性化を図る。

また、昨年度の「ひょうご事業改善レビュー」の結果を踏まえ、鑑賞者ニーズを踏まえた公演充実に新たに取組む。

対 象	小学生	高校生	一 般
開催時期	通 年		
場 所	学校等		市民会館等
公演種目	音楽、オーケストラ、室内楽、器楽、バレエ、演劇、ミュージカル、オペラ、舞踊、能、狂言、人形浄瑠璃 など		
R5 新たな取組	① 出演団体の新規募集 ② 公演 PR 動画の作成 ③ 満足度アンケートと学校関係者向け PR 公演の実施		
R4実績 (鑑賞者数)	40 回 (17,304 人)	11 回 (6,835 人)	5 回 (1,622 人)
負担区分	出演団体の公演経費に対し、県 1/2、市町等 1/2 負担		

#### エ 舞台芸術鑑賞機会創出事業 (20,000千円)

コロナ禍の影響により減少した青少年の舞台芸術鑑賞機会を提供するとともに、県内アーティストに活動の機会を提供する。

- ・対 象 者 文化ホール等の設置者、ホールを含む実行委員会
- ・補 助 金 額 対象経費の 1 / 2 (上限500千円)
- ・対 象 事 業 座席の一定数を子ども・若者向けに無料開放するもの  
県内在住で兵庫県を主な活動拠点としているプロのアーティストが出演するもの
- ・ R 4 実 績 33 件

#### オ 市町ホールを活用した芸術活動への支援 (市町ホール活用支援事業) (4,078千円)

県内の市町ホールの活性化、文化施設間の連携強化を図るため、複数の公立文化施設(市町ホール等)が、音楽や演劇等の大型自主公演を共同(2市町)で実施する事業を支援する。

- ・対 象 者 市町、公立文化施設を管理運営する指定管理者
- ・負 担 割 合 県：施設A：施設B = 1 : 1 : 1
- ・補 助 金 額 上限2,000千円
- ・ R 4 実 績 3 件 (6 市町)

## カ 県民文化普及事業—ふれあい文化の祭典— (24,061千円)

県民に多彩な芸術文化活動の成果発表と身近な場所で芸術に親しむ機会を提供し、地域文化のすそ野を広げるため、地域文化団体、県、市町等が一体となって県内各地域で展開する。

・期 間 令和5年8月～令和6年3月

・R 4 実績 23事業

〔ひょうご演劇祭、ひょうご日本民謡フェスティバル、  
ひょうご邦楽の祭典、ひょうご吟剣詩舞道祭 等〕



【ひょうご邦楽の祭典】  
県立芸術文化センター（西宮市）



【ひょうご吟剣詩舞道祭】  
アクリエひめじ（姫路市）

## キ (拡)ひょうごプレミアム芸術デー (8,495千円) [教育委員会共管事業]

誰もが芸術文化に親しみ、より身近に感じられる機会を提供するため、県立芸術文化施設において無料開放や無料イベントを実施する。今年度は、趣旨に賛同いただいた市町立施設や民間施設にも対象を拡げるとともに、障害のある方や子育て中の方が鑑賞しやすい環境づくりにも取り組む。

- ・ 実施期間 R5. 7. 11～17(7日間) ※一部イベントは別日程の場合あり
- ・ 内 容 芸術文化施設の無料開放、イベントの実施
- ・ 参加施設(予定) 89施設 (県立14、市町立57、民間立18)
- ・ 今年度の特色 障害のある方や子育て中が鑑賞しやすい環境づくり

〔ハートフル・ファストトラック、一時保育  
自由に話せる観覧日、触れる展示  
手話通訳付解説会、字幕付映像放映〕

・ R 4 実績

実施期間 R4. 7. 12～18(7日間)

参加施設 県立施設 9施設

参加人数 29,548人

(内訳) 期間中入館者数 23,987人

期間外イベント参加者数 5,561人

※有料ゾーンでは観覧者が前週比で約3倍に増加



【プレミアム芸術デー】

## ク (新)HYOGOミュージアム魅力発信プロジェクト (500千円) [教育委員会共管事業]

県立社会教育施設等の活性化及び魅力を高めるため、公募によりプロジェクトに参加した大学生等が各施設への訪問・取材を行ったうえで、イベント等の企画提案や、SNSを用いた発信を行う。

### (3) 協働と連携による芸術文化の推進

#### ア 県内各地で開催される芸術祭の連携

(アートde元気ネットワークin 兵庫・神戸推進事業) (2,140千円)

地域の特色を活かした芸術祭・アートプロジェクトの連携を推進し、県内外への情報発信力を高め、交流人口の増加を図り、地域活性化につなげる。

- ・内 容 推進会議の開催(年間3回)、チラシの制作・配布、HP・SNSによる情報発信、大学との連携など

地 域	参画芸術祭(主催団体)
神 戸	六甲ミーツ・アート(六甲山観光(株)) 下町芸術祭(新長田アートコモンズ実行委員会)
西播磨	たつのアート(たつのアート実行委員会)
但 馬	豊岡アートシーズン(豊岡市) 木彫フォークアートおおや(同 実行委員会) あさご芸術の森アートフェスティバル(あさご芸術の森美術館)
丹 波	クラフトAndアート丹波篠山(篠山まちなみ未来展運営委員会)
淡 路	土と鉄、出会いの造形展(IKUHART企画)

#### イ ひょうごつながろうアート応援プロジェクト(1,000千円)

ふるさとひょうご寄附金を活用し、県内の新進・若手アーティスト等による青少年へのアウトリーチ活動、動画での芸術文化活動の実施を支援し、世代を超えて未来につながる芸術文化の振興に寄与する。

#### ウ 関西広域連合との連携

11月に関西文化月間として実施する「関西文化の日」(関西一円の文化施設入館料を無料)への参加や「The KANSAI Guide」(関西の観光情報サイト)と連動した情報発信を行う。

#### エ 芸術文化施設における地域・民間との協働・連携

兵庫陶芸美術館や県立芸術文化センター、尼崎青少年創造劇場などの所管施設において、地域の実情や要請に応じて、学校、団体や民間との協働・連携事業を実施する。

※詳細は各施設運営の項目に記載



## 2 芸術文化施設の運営

### (1) 兵庫陶芸美術館の運営

丹波立杭の里で、陶芸文化の発信基地・交流拠点である「兵庫陶芸美術館」を運営し、丹波焼をはじめとする陶芸文化の振興・発展と、陶磁器を通じた人々の交流や地域活性化を促進する。

- 所在地 丹波篠山市今田町上立杭4
- 主要施設 展示棟（展示室、収蔵庫等）  
研修棟（セミナー室、談話室等）  
エントランス棟（総合案内、レストラン、工房等）  
管理棟（レファレンスルーム、会議室等）、茶室
- 開館年月 平成17年10月
- 入館者数 85,578人（R3年度 113,799人）  
（R4年度 特別展「ルネ・ラリック」入場者14,060人 ほか特別展4回開催）



【兵庫陶芸美術館】

#### ア 展覧会の開催（85,000千円）

古陶磁器や内外の現代陶芸作品の鑑賞機会を提供し、作品鑑賞を通して県民の豊かな感性を育むとともに、兵庫県のやきものの伝統と文化を次世代に伝え、陶芸文化の振興を図る。

	展覧会名	期間
特別展	丹波の茶道具	R4. 3. 18～R5. 5. 28
	デミタスカップの愉しみ	R5. 6. 10～8. 27
	日本工芸会陶芸部会 50周年記念展 未来へつなぐ陶芸展－伝統工芸のチカラ展－	R5. 9. 9～11. 26
	新収蔵品展（仮称）	R5. 12. 9～R6. 2. 25
	フィンランド・ガラスアート－輝きと彩りのモダンデザイン－ ムーミンの食卓とコンヴィヴィアル展－食べること、共に生きること－	R5. 3. 16～R5. 5. 26
テーマ展	竹内紘三展	R5. 12. 9～R6. 2. 25
	丹波焼の世界 season7	R5. 3. 11～R6. 2. 25

#### イ 陶芸文化の普及（4,915千円）

##### (7) 陶芸ファンの拡大に向けた取組

陶芸に関心のある県民対象のワークショップや丹波焼のすばらしさを窯元等から直接学ぶ講座等を実施し、陶芸文化の普及と陶芸を通じた交流促進を図る。

項目	内容	R4実績
陶芸文化講座	古陶磁器や現代陶芸の知識等、陶芸文化を一層深く理解する機会を提供（特別展関連ワークショップ等）	38人
丹波焼最古の登窯関連陶芸ワークショップ	専門的な陶芸用具による作陶、登窯を活用した焼成体験等を通じて、陶芸の理解を深める機会を提供	11人
子育て世代陶芸ワークショップ	子育て世代を対象に、作陶や絵付け体験等を通じて、陶芸の理解を深める機会を提供	56人
県民陶芸大学 (初心者・レベルアップの2コース)	丹波焼の制作過程等を体験することによって、陶芸を知り、もって陶芸ファンの裾野を広げる機会を提供	19人



【丹波焼最古の登窯関連陶芸ワークショップ】



【県民陶芸大学】

## (イ) 専門人材の育成

### ① 技術専門講座

若手陶芸家等を対象に、通常では習得機会の少ない特殊な陶芸技法に関する研修等を実施し、新たな技術・知識の学習機会を提供する。

(R4年度：20人、講師：丹波立杭焼伝統工芸士 大上裕 氏)

### ② 著名作家招聘事業

国内外の著名陶芸作家を招聘し、作品展示・アーティストトーク等を通して、県内陶芸作家との交流を深める機会を提供する。

(R4年度) 講師 備前焼陶芸作家 矢部俊一 氏

参加者 ギャラリートーク 17人、ワークショップ15人、  
アーティストトーク45人

## ウ 学校・地域との連携の推進 (3,602千円)

### (ア) 学校との連携

学校等と連携して、陶芸美術館を活用した展覧会見学や創作活動等の学習プログラムにより陶芸文化のすそ野の拡大を図る。

- ・ R4年度 36校 2,791人
- ・ 高齢者大学への講師派遣
- ・ 兵庫教育大学と連携し、県内小中学校教員を対象とした研修講座、3年生を対象とした研修講座等を実施

### (イ) 地域との連携

#### ① イベント開催

やきものの里プロデュース倶楽部（地域の活動団体12団体で構成）や丹波伝統工芸公園「陶の郷」、こんだ薬師温泉「ぬくもりの郷」等と連携し、地域全体の活性化を図る。

#### 【主な取組】

- ・ 「やきものの里春ものがたり」関連イベント  
(講演会、ワンコインコンサート、体験コーナー 等)
- ・ 「陶器まつり」関連イベント (同上)
- ・ いけばなアート展 等

#### ② 最古の登窯復興と丹波焼の里活性化の推進

兵庫陶芸美術館、丹波立杭陶磁器協同組合、自治会など地域の関係機関等が連携して「丹波焼の里活性化推進委員会」を設立。登窯の修復を契機として丹波焼の里の魅力発信や各種イベント等を開催し、誘客の拡大を図る。

【主な取組】

- ・ふるさとひょうご寄附金を活用した最古の登窯焼成事業への支援
- ・日本遺産の認定を受けた丹波焼の魅力づくりと情報発信等

【焼成について】

- ・R 5年度は5/2～4 焼成



【伝統技法で修復された登窯】



【登窯焼成の様子】

③ 日本遺産「きっと恋する六古窯」活用事業

丹波篠山市を含む日本六古窯の市町が平成 29 年度に日本遺産に認定されたことを契機に「六古窯日本遺産活用協議会」を設立し、プロモーション映像やポータルサイトの制作等広く情報を発信している。

【主な取組】

- ・各産地の歴史や特徴を紹介するガイドブックの製作に参画
- ・神戸市内での観光PR事業(日本遺産の魅力紹介)に参画

エ (新)陶芸美術館の魅力発信 (1,731 千円)

(7) SNS広告によるPR

誘客を促進するため、SNS広告を活用し、特別展の情報を配信する。

(年4回・各7日間)

《広報の対象とするユーザー》

エリア 兵庫県、大阪府、京都府、滋賀県、岡山県

関心 美術、芸術、デザイン、絵画、色彩、陶芸、展覧会 等

(4) ファムトリップの実施

丹波焼の里へ旅行会社等を招待し、陶芸美術館を中心とした丹波焼の里の観光コンテンツを体験してもらうことで、独自のツアー造成につなげる。

- ・実施時期 11月頃 (予定)
- ・対象者 旅行会社 等
- ・参加人数 約10名
- ・内容 陶芸美術館の展覧会観覧、陶の郷での陶芸体験、窯元路地歩き、今田薬師温泉入浴、地元食材の試食、意見交換会 等

(5) 丹波焼の里巡りガイドの育成

フィールド・パビリオンに向けて、ボランティアガイドの資質向上及び新規取得のため、ガイド専門家、陶磁器の専門家による養成講座を実施する。

## (2) 県立芸術文化センターの運営

阪神・淡路大震災からの心の復興・文化の復興のシンボルとして、自ら創造し、県民とともに創造するパブリックシアターをめざす「芸術文化センター」を運営し、国内外にわたる芸術文化の創造と交流を推進する。

- 所在地 西宮市高松町2-22 (阪急西宮北口駅南)
- 主要施設 KOBELCO 大ホール(2,001席)、阪急 中ホール(800席)  
神戸女学院 小ホール(417席)
- 開館年月 平成17年10月
- 指定管理者 (公財)兵庫県芸術文化協会
- 芸術監督 佐渡裕
- 利用者数 633,028人 (R3年度 476,771人)
- 利用状況

区分	KOBELCO 大ホール	阪急 中ホール	神戸女学院 小ホール
令和4年度利用率	93.8%	95.4%	98.1%



【KOBELCO 大ホール】



【阪急 中ホール】



【神戸女学院 小ホール】

### ア 芸術文化センター事業の実施 (自主企画による創造・公演事業 (378,000 千円))

#### (ア) プロデュース事業 (公演)

##### ① 佐渡芸術監督プロデュース公演

芸術文化の普及振興を図るため、国内外に発信力のある大型公演を実施する。

プロデュースオペラ 歌劇「ドン・ジョヴァンニ」	R5. 7. 14～23 (8公演)
ジルヴェスター・ガラ・コンサート 2023	R5. 12. 31 (1公演)

##### ② センター企画・プロデュースによる公演

ひょうご能「船弁慶」	R5. 9. 24 (1公演)
日本オペラ・プロジェクト「赤い陣羽織」「卒塔婆小町」	R6. 2. 10～11 (2公演)
知的・発達障がい児(者)にむけての劇場体験プログラム	R6. 3. 3 (1公演)

#### (イ) 招へい・提携・共催事業

##### ① 内外オーケストラ・オペラ・バレエ公演等 (KOBELCO 大ホール)

バーミンガム市交響楽団	R5. 6. 24 (1公演)
東京バレエ団「くるみ割り人形」	R5. 12. 27 (1公演)
ジャパン・ヴィルトゥオーゾ・シンフォニー・オーケストラ	R6. 1. 4 (1公演)

##### ② 内外演劇・ミュージカル・古典芸能公演等 (阪急 中ホール)

ミュージカル「カラフル」(世田谷パブリックシアターとの連携)	R5. 8. 12～13 (2公演)
万作萬斎狂言	R5. 10. 19～20 (2公演)

##### ③ 内外室内楽公演等 (神戸女学院 小ホール等)

世界音楽図鑑「カニサレス(ギター)」〈スペイン〉	R5. 7. 12 (1公演)
古楽の愉しみ「ジャン・ロンドー(チェンバロ)」	R5. 10. 29 (1公演)
HYOGOクリスマス・ジャズ・フェスティバル	R5. 12. 6～24 (6公演)

## (ウ) 普及事業

県民誰もが楽しめる親しみやすい公演を実施する。

項目	内容
プロムナード・コンサート (5事業5公演)	人気・実力を備えた国内外演奏家を招き、低料金で親しみやすいプログラムの公演により、すそ野の拡大をめざす。
ワンコイン・コンサート (10事業10公演)	県内外音楽コンクール受賞者等、兵庫・関西ゆかりの新進気鋭の音楽家によるコンサートを開催(入場料500円)。
ドリーム・コンチェルト (1事業1公演)	ワンコイン・コンサート出演者と芸術文化センター管弦楽団の共演により、若手音楽家の飛躍につながる機会を提供
県民の創作活動の推進 (11事業11公演)	舞台芸術団体フェスティバル (8月19日～9月30日)

## (イ) 地域連携・にぎわいづくり事業(西北活性化協議会への参画)

センター開館を機に設置された「西北活性化協議会」を中心に、市内大学や周辺自治会等の参加も得て、地元が一体となった様なイベントを実施、地域のにぎわいを創出する。

- ・構成団体 にしきた商店街、阪急西宮ガーデンズ、芸術文化センター
- ・主な事業 ・プロデュースホラ「ドン・ジョヴァンニ」前夜祭  
・「LALALA にしきたミュージシャン・コンテスト(第16回)」  
・クリスマス・イベント

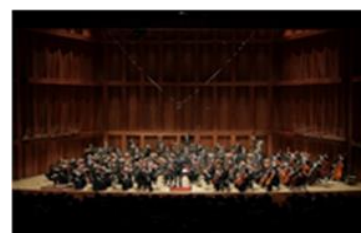
## イ 芸術文化センター管弦楽団による活動(323,675千円)

全国世界からの公募により、優れた若手プロ演奏家を中心に構成される専属管弦楽団を運営し、兵庫から国内外にアピールできる魅力ある演奏活動を展開する。

また、国内外より著名な演奏家を指導者として招き、楽団員の演奏力および楽団としてのアンサンブル力の強化を図ることで、アカデミー機能のより一層の強化、充実を目指す。

### 【楽団の構成】

- ・芸術監督 佐渡裕
- ・レジデント・コンダクター(専任指揮者) 岩村力
- ・コンサートマスター 田野倉雅秋、豊嶋泰嗣
- ・コアメンバー 定員48人(35歳以下、契約期間3年)



【第126回定期演奏会】

©飯島隆

## (7) 多彩な公演の実施

### ① 定期演奏会(KOBELCO大ホール)

佐渡裕芸術監督をはじめ、世界一流の客演指揮者やソリストを招聘し、質の高い公演を実施する。令和5年度は27公演(1回につき3公演)開催予定

- ・第141回定期演奏会 下野竜也指揮(R5.5.26～28)ほか8回

### ② 特別演奏会(KOBELCO大ホール)

名曲コンサート、ファミリーコンサート等親しみやすい公演を実施

- ・PAC子どものためのオーケストラ・コンサート 岩村力指揮(R5.4.22)
- ・リサイタルシリーズ PACコアメンバー出演(R5.5.2)

### ③ 室内楽演奏会(神戸女学院小ホール)

バロックから現代曲まで、さまざまなレパートリーを多様な編成で演奏

し、室内楽の魅力を伝える。令和5年度は全4回開催予定

・第75回 金管楽器セクション(R5.4.15) ほか3公演

#### (イ) 青少年に向けた鑑賞機会の提供

##### ① 青少年芸術体験事業「わくわくオーケストラ教室」の実施〔教育委員会事業〕

県内全公立中学1年生(公立以外は希望校)を対象に、本格的な管弦楽団の演奏に親しむ機会を提供する。

・開催日 令和5年5月31日～令和6年1月26日

・場 所 KOBELCO大ホール

・公演数 40公演

・参加者数 45,188人 (R3年度 22,897人)



【わくわくオーケストラ教室】

©飯島隆

##### ② アウトリーチ活動

学校等に出向いて演奏を行い、音楽の魅力・感動を伝えるとともに、音楽普及と楽団のPRを図る。平成29年度から小学校を対象にしたアウトリーチ活動を展開している。

令和4年度実績 小学校・特別支援学校19校

##### ③ スーパーキッズ・オーケストラの活動

全国から選ばれた小学生から高校生までの演奏家により、県内各地でのイベント演奏や公演等を実施している。

### (3) 県立尼崎青少年創造劇場(ピッコロシアター)の運営

青少年が演劇、音楽、舞踊などの練習や発表に気軽に利用できる場として、また、優れた舞台芸術の鑑賞や学習を行う場として、青少年の自由な創造活動を促進するとともに、県民文化の振興を図る。

○ 所在地 尼崎市南塚口町3-17-8

○ 主要施設 大ホール(396席)

中ホール(200席)

小ホール(100席)

練習室3室、書庫・閲覧室、別館稽古場

○ 開館年月 昭和53年8月

○ 指定管理者 (公財)兵庫県芸術文化協会

○ 利用者数 76,849人 (R3年度 58,300人)

○ 利用状況



【県立尼崎青少年創造劇場】

区分	大ホール	中ホール	小ホール	練習室
令和4年度利用率	89.5%	89.0%	92.6%	88.5%

#### ア 演劇等鑑賞劇場の提供(4,725千円)

地域文化の振興を図るため、演劇、落語などの優れた舞台芸術を紹介する鑑賞劇場を開催する。

【鑑賞劇場】

ピッコロ寄席 「桂ざこば一門会」「桂枝雀一門会」「桂吉朝一門会」「桂米團治独演会」「子どもと楽しむ落語会」	R5. 5～R6. 3
シアタースタート関連事業「おもちゃの広場」	R5. 7. 29
シアタースタート くわえ・パペットステージ 「ぶっかり ぽっかり」	R5. 9. 15
文学座公演「昭和虞美人草」	R5. 9. 2～3
青年団プロデュース公演「馬留徳三郎の一日」	R5. 12. 8

【文化セミナー】

「地域で創造する魅力」 平田オリザ・岩松 了	R5. 8. 28
------------------------	-----------

イ 県立ピッコロ劇団による公演（193,579千円）

県立ピッコロ劇団の活動を通して、優れた舞台芸術の創造、演劇の鑑賞機会の提供を進め、地域文化の振興を図る。

・劇団の構成 劇団代表 岩松了、俳優 35人

(ア) 本公演（於：ピッコロシアター）

第76回公演「やわらかい服を着て」	R5. 7. 21～25（6公演）
第77回公演 オリジナル新作（題名未定）	R5. 9. 30～10. 5（6公演）

(イ) ファミリー劇場（於：ピッコロシアター）

ファミリー劇場「森の中の海賊船～こそあどの森の物語～」	R5. 8. 5、6（4公演）
-----------------------------	-----------------

(ウ) 県立芸術文化センター公演

ファミリー劇場「森の中の海賊船～こそあどの森の物語～」	R5. 12. 23～25（3公演）
第78回公演「ロボット-RUR-」	R6. 2. 23～25（5公演）

(エ) ピッコロわくわくステージ（中学生対象）（於：ピッコロシアター）

「森の中の海賊船～こそあどの森の物語～」	R5. 5～6月（9公演） 11～12月（調整中）
----------------------	------------------------------

(オ) ピッコロおでかけステージ（小学校公演等）

「タラレバ幽霊とタカラの山」	R5. 10～11月県内小学校等での上演
----------------	----------------------



【第74回公演「から騒ぎ」】



【ファミリー劇場「飛んで孫悟空」】

(カ) 演劇指導等

演劇学校、高校、大学、専門学校等の授業や企業、ワークショップに劇団員を指導者として派遣する。

（令和4年度実績：主な派遣先）

ピッコロ演劇学校、宝塚北高校、伊丹北高校、クラーク記念国際高校、甲南女子大学、関西学院大学、大阪芸術大学、県自治研修所、豊岡市役所、

県内小学校等（あつまれ！ピッコロひろば（小学生対象演劇ワークショップ））、  
小野市国際交流協会（在留外国人向けワークショップ等）

#### ウ 舞台芸術の人材育成（ピッコロ演劇学校・ピッコロ舞台技術学校）（5,169千円）

演劇創造について幅広く学ぶ「ピッコロ演劇学校」（毎週火・木曜日の夜に実施）、  
音響・照明・美術などの基礎技術を学ぶ「ピッコロ舞台技術学校」（毎週水・金曜日の夜に実施）を運営する。

【令和5年度生徒数】

演劇学校	本科	24人
	研究科	18人
舞台技術学校		21人
合計		63人



#### (4) 県立美術館王子分館の運営

- 所在地 神戸市灘区原田通3-8-30
- 指定管理者 (公財)兵庫県芸術文化協会
- 主要施設 <原田の森ギャラリー> 本館（1・2階展示室、収蔵庫）  
東館（1・2階展示室、収蔵庫）  
別館（会議室等、貸倉庫）、駐車場  
<横尾忠則現代美術館>  
展示室、オープンスタジオ、アーカイブルーム、収蔵庫、カフェ（別棟）
- 開館年月 原田の森ギャラリー 平成14年10月  
横尾忠則美術館 平成24年11月



【原田の森ギャラリー】



【横尾忠則現代美術館】

#### ア 原田の森ギャラリーの運営（48,896千円）

県域芸術団体等に展示や創作活動の発表の場を提供し、美術のすそ野を拡大し、  
本県芸術文化の振興を図る。また、令和2年10月に障害者の芸術作品を常設展示する  
「兵庫県障害者アートギャラリー」を開設した。

- 利用者数 131,533人（R3年度 100,867人）
- 利用状況

区分	展示室				会議室
	本館1階	本館2階	東館1階	東館2階	別館
令和4年度利用率	85.9%	91.5%	90.8%	89.2%	65.0%



## イ 横尾忠則現代美術館の運営（116,899千円）

横尾氏から寄贈・寄託された作品等を安全に保管しながら、展覧会の実施や様々な事業を展開し運営する。

- 入館者数 57,675人(R3年度 44,385人)  
うち企画展入場者数 35,140人

### (7) 企画展の開催

絵画、版画、ポスターなど世界最大の横尾作品のコレクションを軸に、国際的に高く評価されている横尾作品や、横尾作品に関連するテーマ展など、多彩な展覧会を展開する。

展覧会名	期間
横尾忠則 原郷の森展	R5. 5. 27～8. 27
Yokoo in Wonderland ー横尾忠則の不思議の国	R5. 9. 16～12. 24
横尾忠則「Yーイ(ワイ)!★Y字路」展	R6. 1. 27～5. 6

### (4) 企画展関連事業

新たなファン層の拡大をめざし、オープンスタジオを活用して、キュレーターズトークや座談会、横尾氏と親交のあるアーティストによるライブ、コンサート等を実施する。

### (ウ) 情報の提供・広報

美術館の魅力を様々な媒体により国内外に伝える。

#### 【主な取組】

- ・ 県立美術館、BBプラザ美術館と共同で英語・中国語パンフレットを配布
- ・ 学芸員が美術館の仕事の概要を語る動画を日本語、英語、中国語、韓国語の字幕をつけて配信

## (5) 兵庫県民会館の運営

会議室、集会室、アートギャラリー、ホール等を備えた県民の文化活動の拠点である兵庫県民会館を運営し、県民の福祉と文化の向上を図る。

- 所在地 神戸市中央区下山手通4-16-3
- 主要施設 会議室21室、パルテホール1室(収容150人)、  
県民ホール1室(収容360人)、和室3室、  
アートギャラリー4室(50～346㎡)、駐車場
- 開館年度 昭和43年
- 指定管理者 (公財)兵庫県芸術文化協会
- 利用者数 423,385人 (R3年度 297,950人)
- 利用状況

区分	会議室	パルテホール	県民ホール	和室	ギャラリー
令和4年度利用率	60.2%	64.5%	71.0%	62.9%	42.7%

# 男女共同参画の推進と 青少年の健全育成の推進について

令和 5 年 7 月 1 8 日

県 民 生 活 部  
男 女 青 少 年 課

## <目 次>

### 1 男女共同参画社会づくり施策の推進

- (1) 男女共同参画社会の実現に向けた取組の推進 . . . . . 3
- (2) 県立男女共同参画センターによる取組の推進 . . . . . 4
- (3) 女性活躍の推進 . . . . . 5
- (4) 孤独・孤立の問題を抱える女性への支援 . . . . . 7

### 2 家庭応援施策の推進

- (1) 家族のきずなを深め共に家事・育児に取り組む機運の醸成 . . . . . 8
- (2) 地域での連携・協働による子育て支援 . . . . . 9
- (3) 出会い支援事業 . . . . . 11

### 3 青少年の健全育成の推進

- (1) 青少年育成のための基盤づくり . . . . . 12
- (2) 青少年の体験活動の推進 . . . . . 13
- (3) 課題を抱える青少年の支援 . . . . . 15

### 4 青少年を守り育てる活動の推進

- (1) 青少年愛護活動の展開 . . . . . 17
- (2) 青少年のインターネット利用対策の推進 . . . . . 18

# 1 男女共同参画社会づくり施策の推進

男女がともに、いつでも、どこでも、いきいきと生活できる社会の実現を目指し、男女共同参画基本法に基づき「ひょうご男女いきいきプラン 2025」(R3～R7)を策定し、取組を推進する。

## (1) 男女共同参画社会の実現に向けた取組の推進 (805 千円)

### ア 男女共同参画社会づくり協定の締結

男女共同参画社会づくり条例に基づき、県と事業所が協定を締結し、男女共同参画社会づくりに向けた事業所の取組を協働で促進する。

<締結事業所 (R5.3 末)> 1,465 社・2 団体

<取組例>

- ・就業規則に育児・介護休業規程を整備するなど、家庭・地域生活と職業生活との両立に向けた環境整備
- ・セクシャル・ハラスメントの防止
- ・事業活動の方針決定や企画に男女が共に参画する機会の確保



【男女共同参画づくり協定書】

<地域別協定締結数 (R5.3 末)>

神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	県外	計
224	134	89	130	135	295	140	139	87	78	16	1,467

※「県外」は、県内に事業所を有する県外の本社との締結数

### イ 男女共同参画推進員の設置

男女共同参画社会づくり条例に基づき、男女共同参画推進員を委嘱して地域や職場における取組を促進するとともに、県立男女共同参画センターと各県民局・県民センターの連携による様々な情報提供や研修を通して、推進員の活動を支援する。

<委嘱人数 (R5.3 末)> 第 11 期(R4～5)

地域	企業	労働組合	計
92	1,146	48	1,286

<推進員の活動内容> 地域や職場での情報提供、講座・ワークショップの開催等

### ウ 市町における取組の推進

県・市町合同会議や男女共同参画センター連絡会議等の実施により、市町と連携・協働し、男女共同参画社会づくりを推進する。

<市町の取組状況 (R5.3 末)>

男女共同参画条例	男女共同参画計画	男女共同参画センター
13 市町 (31.7%)	41 市町 (100%)	22 市町 (53.7%)

## (2) 県立男女共同参画センターによる取組の推進（95,531千円）

男女共同参画社会の形成を図るため、県立男女共同参画センターを運営し、女性の就業・学習支援、女性の悩み相談などを総合的に推進する。

### 県立男女共同参画センター（愛称：イーブン）

〔設置場所〕 神戸市中央区東川崎町 神戸クリスタルタワー7階

〔施設内容〕 女性就業相談室（総合案内、情報検索コーナー、ハローワーク）  
 情報相談コーナー、情報図書室、  
 セミナー室・講習室、面談室、  
 交流スペース、保育室

〔利用者数〕 R4年度：33,128人



## ア 相談

### (7) 女性問題カウンセラーによる相談の実施

家族・職場の人間関係や、自分に自信がない、将来が不安など、女性の様々な悩みについて相談を受け、相談者自らが今後の生き方を選択できるよう支援する。

＜相談内容＞ 電話：月～土 9:30～12:00、13:00～16:30

面接：月～金 9:40～18:40、土 9:40～16:40

＜R4実績＞

項目	対人関係	健康関係	くらし・生き方	労働関係	法律関係	学習・情報他	計
件数	1,932	460	473	193	46	441	3,545
割合	54.5%	13.0%	13.3%	5.4%	1.3%	12.5%	100.0%

### (イ) 特別専門相談の実施

女性弁護士による法律相談や、医師・助産師による不妊・不育専門相談、男性の臨床心理士による男性の悩み相談を行う。

＜R4実績＞

区分	法律相談 (面接：月1回)	不妊・不育専門相談※ 〔電話 月2回 面接 月1～2回〕	男性のための相談 (電話：月2回)	計
件数	19	66	51	136

※保健医療部所管事業

## イ 人材育成

地域の課題解決に向けて実践活動を行うリーダー的役割を担う人材を養成するため、男女共同参画について体系的に学ぶ講座を開設する。

＜回数＞ 25回連続講座（R4.6～12）

※公開講座はオンラインで配信

＜内容＞ 基礎学習（講義）、ワークショップ（実習）

＜受講者（R4年度）＞ 18人



【男女共同参画アドバイザー養成塾】

## ウ 女性の就労支援

出産や育児等による長期離職、コロナ禍での就労不安などに悩む女性を対象に、ハローワークと連携し、起業や再就職に向けた相談から、講座等によるスキルの向上、職業紹介までワンストップで支援する。

＜女性就業相談室利用者数（R4年度）＞ 5,581人

### (7) チャレンジ相談の実施

社会保険労務士等が再就職や起業、在宅ワーク、地域活動など今後の働き方やライフキャリアを考えたい女性の相談に応じる。

区分	R4年度実績		R5年度予定	
	回数	参加者数	回数	参加者数
チャレンジ相談 (電話・オンライン・面接:月4回程度)	50回	132人	50回	150人
出前チャレンジ相談 (市町男女共同参画センター等)	66回	148人	67回	201人

### (イ) 講座・セミナーの開催

自分にあった働き方や自分らしく働き続ける力を養うセミナーや就労に役立つパソコンの実践的活用方法を学ぶ講座等を開催。

区分	R4年度実績		R5年度予定	
	回数	参加者数	回数	参加者数
女性のための働き方セミナー	20回	205人	20回	160人
出張！女性のための働き方セミナー	30回	223人	31回	248人
多様な働き方応援シンポジウム	1回	76人	1回	100人
パソコン講座(初心者～経験者向け)	13回	172人	12回	180人

### (ウ) 職業相談、職業紹介の実施

センター内に設置されたハローワークと連携し、直接就業へ結びつける支援を行う。

区分	R4年度実績
相談窓口利用者数	4,831人
紹介状発行者数 (企業求人への応募者数)	758人
就 職 者 数	247人

## (3) 女性活躍の推進 (25,892千円)

### ア ひょうご・こうべ女性活躍推進企業（ミモザ企業）認定制度の推進(R4～)

企業が自己診断により女性の管理職比率などの現状を数値化・見える化し、一定の基準に達した企業を認定することで、女性活躍推進に向けた取組を後押しするとともに、「ミモザ企業」として広く情報発信し、女性の県内企業への就職を促進する。

＜認定企業（R4年度）＞

神戸	阪神	播磨	但馬	丹波	淡路	計
39件	4件	17件	4件	3件	3件	70件



ひょうご・こうべ  
女性活躍推進認定  
ミモザ企業

(7) 認定企業の募集 ※R5年度 50社認定予定

(イ) ミモザ認定企業と県内大学生による交流会 ※R5年9月開催予定

(ウ) ミモザフォーラムの開催(認定証授与式、基調講演、会場参加型トークセッション) ※R6年3月開催予定

## イ 女性活躍推進センターによる取組

県立男女共同参画センター内に設置した女性活躍推進センター（H28.6～）を中心に、女性活躍推進の気運醸成をはじめ、企業の自主的取組の促進やキャリアアップを目指す女性の支援等を行う。

### (7) 企業の取組支援

県内企業における女性活躍を推進するため、女性活躍推進専門員が企業を訪問し、様々な相談に応じるとともに、キャリアアップや意識改革に係る研修の企画提案や講師派遣を実施する。

< R 4 実績 > 訪問企業：90 件 講師派遣：10 件

### (4) 女性活躍を応援するセミナー等の開催

若手職員や中堅職員、管理職など対象別の研修等を開催し、女性社員のキャリア形成を支援する。

#### ① 中小企業等の階層別女性社員研修の実施

女性社員のスキルアップやネットワークづくりを支援するための研修を開催

< 参加者（R4 年度） >

中堅・若手：延べ41名 管理職：延べ63名（2コース各2日間）

※R5年度は、3コース（若手・中堅・管理職）に拡充して実施予定

#### ② 女性を応援する経営者・管理職等向けセミナーの実施

経営者や管理職を対象に、誰もが自分らしく働くことができる職場づくりに向けたセミナーを開催

< 参加者（R4 年度） >

81名（うちオンライン配信視聴 51名）



【中小企業等の階層別女性社員研修】

## ウ 女性活躍推進グループの活動支援

企業における女性活躍に向けた気運醸成、取組を促すため、女性社員を中心としたグループによる意見交換会や勉強会など、自主的な活動を支援する。

< 内 容 > 上限 100 千円／グループ

女性活躍の現状・課題分析、勉強会の開催、先進事例の調査研究等

< R 4 実績 > 3 件（異業種で働く女性同士の意見交換、企画力・コミュニケーション力向上のための勉強会等）

## エ 女子学生のキャリアデザイン形成支援

職業をはじめとした人生の様々な場面における自分の生き方・働き方について、学生時代から考える機会を提供するため、大学等と連携し、企業で活躍する女性社員を講師として大学生を対象としたセミナーを実施する。

<R4実績> 回数：3回  
参加者：延べ657名

<連携大学> 神戸学院大学 等

<R5予定> 回数：3回



## (4) 孤独・孤立の問題を抱える女性への支援 (11,300 千円)

不安や困難を抱える女性を支援するため、SNS相談やオンライン居場所の開設、WEB面談、生理用品の無料配付を実施する。



この2次元コードからアクセス！  
スマホでもパソコンでもアクセスOK！  
<https://cocorochat.com>

事業名	内容	R4実績
SNS相談 	【チャット】(火～土曜、10～13時 14～16時) 女性相談員が悩みを抱える女性に寄り添いながら、気持ちの整理の支援や情報提供を実施	342件
オンライン居場所 ～自信UPプロジェクト～	【ZOOM】(毎月第2、第4水曜、10～12時) 女性同士が様々な悩みを打ち明ける居場所を開設し、一歩踏み出す気持ちを応援	60人
WEB面談 ※R5.6.13～	【ZOOM】(SNS相談で予約) 医療や法律などの専門家と1対1で相談ができる場を提供し、問題解決のためのきっかけを見つけるための支援	—
生理用品の無料配付	県立男女共同参画センターやマザーズハローワーク等で、経済的に困窮する希望者に生理用品を配付	4,054パック (81カ所)



## 2 家庭応援施策の推進

家族や家庭について考えるきっかけづくりや男性の家事・育児参加の促進、地域や企業との連携による子育て支援のための取組を進める。また、ひょうご出会いサポートセンターの運営を通じて、結婚を希望する男女の出会いを支援する。

### (1) 家族のきずなを深め共に家事・育児に取り組む機運の醸成（4,789千円）

#### ア “家族の日”運動の普及推進

家族のきずなを深める契機として、各家庭で話し合い、最もふさわしい日を「家族の日」と定める「家族の日運動」を推進する。

##### (7) 写真コンクールの開催

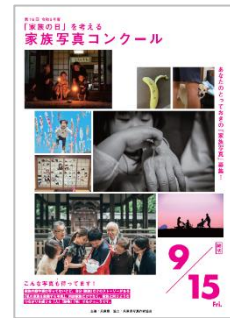
「家族の日」を考える家族写真コンクールを実施する。

<募集期間> 令和5年7月6日～9月15日

<受賞点数> 最優秀賞1点、優秀賞4点ほか計20点

<R4実績> 応募点数783点

ホームページ	: 534点
Instagram	: 249点



【家族写真コンクールチラシ】

##### (イ) ラジオ放送等を活用した啓発

ラジオCMやラジオ関西まつりへのブース出展により普及啓発を行う。

<CM回数> 22回予定（毎月第3水曜日）



令和4年度最優秀賞

『ゴメンやぶけちゃった 今日だけよ ハイチーズ』

#### イ 家族が協力して家事・育児に取り組む環境づくりの推進

男女が共にいきいきと暮らす社会の実現に向け、男性の家事・育児への参画を促す講座の開催や情報発信などに取り組む。

##### (7) 子育てに優しい職場づくりフォーラムの開催

企業経営者や労務担当者等を対象に、男性の育休取得促進の先行事例や法制度の概要等を学ぶフォーラムを開催する。

<R4実績> オンライン開催（10月14日（金） 230人参加・視聴）

<R5予定> 令和5年10月開催

##### (イ) 企業向け子育て応援出前講座の開催

男性社員や管理職を対象に、男性の家事・育児への参画やワーク・ライフ・バランスの推進等を学ぶセミナーを開催する。

<回数等> 県内企業・団体 10社程度

<テーマ例> 育休を取りやすい企業風土、仕事と家庭の両立支援等

<R4実績> 10社、約3000人（延べ人数）参加

(ウ) とも家事・ゆる家事の推進、イクメンサポートの実施

家事負担を軽減する工夫やヒントの紹介、家事分担について楽しく話し合うツールの提供等を通じて、家族が協力して家事を行う意識を醸成し、男性の家事・育児への参加を促進する。

また、家事・育児のスキルを上げるため、イクメンサポートセミナー、父親向け親子料理教室を開催するほか、先輩イクメンを紹介するレポート発信を実施する。



【家事シェアシート】

(2) 地域での連携・協働による子育て支援 (23,487 千円)

安心して子どもを産み育てられる地域づくりを進めるため、地域団体、企業、市町、職域団体等と協働して、子育て支援を推進する。

ア 子育て応援協定の締結

県と事業所が協定を締結し、子育てと仕事の両立や子育て家庭を応援する取組を促進する。

＜締結事業所 (R5.3 末)＞ 1,495 社、38 団体

- ＜取組例＞・事業所内での少子対策・子育て支援推進員の設置
- ・子育てと仕事が両立できる職場環境の整備

＜地域別協定締結数 (R5.3 末)＞

神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	県外	計
271	130	88	119	129	291	142	147	81	82	15	1,495

※「県外」は、県内に事業所を有する県外の本社との締結数

イ 地域団体と連携して行う子育て支援

団体がその特色を生かして行う子育て応援のための活動を支援する。

＜内容＞

連携団体	事業内容	R4実績
兵庫県連合婦人会	三世代が交流する体験教室等 祭りなど地域の伝統行事や節句に関する料理教室等	73回 22回
神戸市婦人団体協議会	七夕・月見・正月など伝統行事に関する講習会等	13回
兵庫県いずみ会	朝ごはんステップアップキャンペーン (食育講話等) おやこdeクッキングの開催	38回 38回
兵庫県愛育連合会	若者向け結婚・子育て講座、親向けの子育て相談会等	14回
ひょうご子育てコミュニティ	県内の多様な子育て支援団体が連携し、共通課題への理解を深め、情報交換を図るためのフォーラム等	3回

## ウ ひょうご子育て応援の店（子育て支援パスポート）の普及促進

子育てを社会全体で応援するため、県内店舗等が参加する「ひょうご子育て応援の店」の利用促進により、子育て家庭への支援を行う。

<参加店舗数（R5.3末）>

物販店	飲食店	金融機関	学習塾	レジャー等	計
2,771	616	208	356	823	4,774

<利用対象> 18歳未満の子どもがいる子育て世帯

<利用者数（R5.3末）> 173,607人

<利用方法> 事前登録の上、パスポート画面を店頭で提示

（料金の割引、授乳室等子ども連れに優しい設備の利用などの特典）



【スマホパスポート画面】

## エ まちの子育てひろばへの支援

保育所・幼稚園や、子育てサークル等が児童館等で開設しているまちの子育てひろばの運営に対し、保育士や保健師等の資格を持つアドバイザーを派遣し、遊びや子育ての悩み相談や情報提供等を行う。



【アドバイザー派遣の様子】

<実施箇所数（R5.3末）>

神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
427	320	251	237	152	228	118	105	47	46	1,931

## オ 地域と連携した子どもの見守りの推進

子育て支援団体と連携し、登下校時の見守りや声かけ、虐待・育児不安等のサインをキャッチして関係機関につなぐ取組を行うため、各地域で「子育て家庭応援推進員」を委嘱する（R5.3末現在1,539名）とともに、各県民局・県民センターによる情報交換の場の提供や研修を通じて活動を支援する。

### (3) 出会い支援事業（87,498千円）

独身男女の出会いの機会を増やし、成婚につなげるため、ひょうご出会いサポートセンターを運営する。

<累計成婚数（R5.3末）> お見合い会員1,072組、イベント会員983組

区 分		H30	R元	R2	R3	R4	R4/H30比 (コロナ前比較)
個別 お見合い	会員数(人)(各期3月末)	4,978	4,176	3,562	3,306	3,094	62.2%
	プロフィール閲覧数(回)	15,692	13,104	464,076	539,838	421,648	約27倍
	お見合い(組)	3,355	2,731	2,180	3,312	2,520	75.1%
	成婚数(組)[a]	78	79	68	57	73	93.6%
出会い イベント	イベント回数(回)	216	169	85	107	88	40.7%
	参加者数(人)	6,289	4,782	1,943	2,099	1,907	30.3%
	成婚数(組)[b]	55	56	59	36	37	67.3%
成婚数(組)計 [a+b]		133	135	127	93	110	82.7%

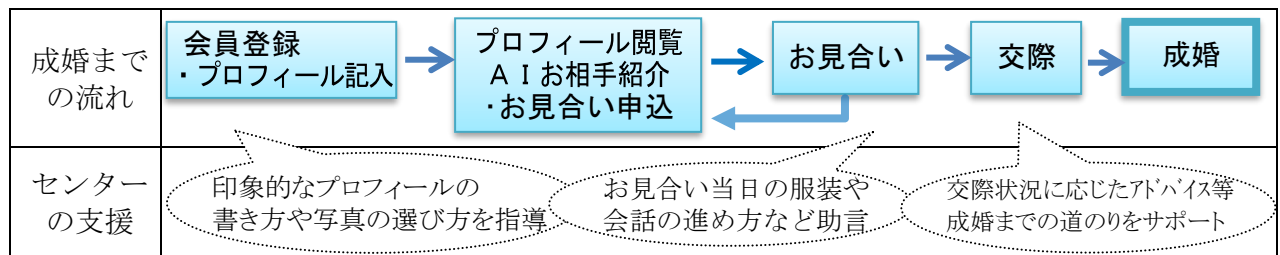
※ R2.7より、プロフィール閲覧、お見合い申込がスマホから実施可能

#### <マッチング支援の流れ>

令和5年5月10日から、会員登録等の手続きを全てオンライン化し、新たに導入した価値観診断に基づくAIマッチング機能により、より相性の良いお相手探しをサポートする。



【ひょうご出会いサポートセンターHP】



#### ア 出会いイベントの実施・紹介

民間婚活事業者等と連携し、民間ノウハウを活かした出会いイベントを実施するとともに、応援団体（企業・NPO・市町等）が行うイベントを紹介する。

<R4実績> 自主・連携イベント：18回、応援団体イベント：70回

<応援団体（R5.3末）> 211団体

#### イ 結婚力アップセミナーの開催

話し方、身だしなみ、交際マナー等のセミナーをイベントと合わせて実施する。

<R4実績> 5回、124人参加

<R5予定> 10回程度

### 3 青少年の健全育成の推進

公益財団法人兵庫県青少年本部や青少年団体等と連携し、「ひょうご青少年憲章」の理念のもと、体験活動やふるさとづくりを通じて青少年の健全育成を推進する。

#### (1) 青少年育成のための基盤づくり (27,141 千円)

地域や企業と連携し、青少年育成のための基盤づくりを図る。

##### ア 若人の賞の選奨

青少年の自己啓発と社会参加を促すため、優れた活動を行った青少年を表彰する。

＜対象＞ 青少年活動の振興、文化の振興、福祉の向上、環境の整備、国際交流活動に関して3年以上継続的に活動し、特に貢献した青少年



【若人の賞贈呈式】

＜受賞人数＞

年度	S60～R2	R3	R4
人数	179	5	5

##### 【R4 主な受賞者の活動内容】

- ・民謡歌手として、多彩な公演や地域でのボランティア活動に取り組む
- ・高校の生徒会長として、学校周辺の豊かな自然を活かした野外映画祭を企画運営 等

##### イ 地域における青少年育成活動の推進

各県民局・県民センターに配置する青少年本部の地域活動コーディネーター等を中心に、地域の青少年育成団体等と連携し、青少年育成活動を展開する。

##### (7) 青少年育成のためのセミナー・実践活動事業の実施

地域の青少年育成団体の担い手等を対象に、青少年を取り巻く課題や対応等を学ぶためのセミナーを開催するとともに、団体間の連携強化を図る。

＜R4実績＞ ① 全県共通セミナーの開催（年3回）

② 地域連携事業の実施

- ・地域団体の活動状況の集約・情報共有
- ・地域の特色を生かした連携事業（イベント、セミナー等）の実施

##### (イ) ひょうご子ども・若者応援団による支援（青少年本部自主事業）

青少年の健全育成に意欲のある企業・団体等と地域の青少年育成活動をつなぎ、企業から提供された寄附・物資に基づく活動助成を実施する。

＜内容＞ 支援企業数（累計）：785 社

青少年団体・グループ数（累計）：300 団体

支援内容

- ・青少年の体験活動・リーダー養成、オンライン学習会への助成
- ・ネット依存対策を含む自然体験活動事業への助成
- ・物資等のマッチング支援

## (2) 青少年の体験活動の推進 (227,526千円)

生きる力を育む体験活動の機会を提供するとともに、青少年のふるさと意識を醸成し、地域で活躍する人材の育成につなげる。

### ア 兵庫・沖縄友愛交流事業の推進

昭和47年に沖縄県と友愛提携を締結し、両県の青年が郷土の歴史や文化の交流を通して友愛の絆を深め、ふるさとへの誇りと愛着を育む。

#### (7) 兵庫・沖縄青年リーダー交流事業の実施

両県の青年が相互に訪問し、郷土の歴史学習や文化交流を通じて、郷土の発展に寄与するリーダーを養成する。

< R4実績 >

実施場所	沖縄県	兵庫県
実施日	R4.11.3~6	R5.2.9~12
対象	県内在住・在勤・在学の18歳~40歳までの青年	
主な行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島守の塔・のじぎくの塔の参拝</li> <li>・平和祈念公園等の施設見学による平和・自然・文化・歴史学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人と防災未来センター等防災学習</li> <li>・県立兔和野高原野外教育センターでの自然体験研修</li> </ul>
参加者数	20人 (兵庫8人、沖縄12人)	26人 (兵庫11人、沖縄15人)



【秋季キャンプ(沖縄)】



【冬期キャンプ(兔和野高原)】

#### (イ) 兵庫・沖縄フレンドシップ事業の実施

「兵庫・沖縄友愛戦後70年記念事業」(H27実施)を契機として、平成28年度から沖縄県の児童生徒が来県して県内児童生徒と交流する。

< R4実績 > 実施日：令和4年12月25日  
 参加者数：60人(兵庫20人、沖縄40人)  
 内容：・沖縄県の児童との交歓会  
 ・郷土芸能の紹介・体験活動



【R4交歓会】

#### イ 青少年団体やNPO等による子どもの冒険ひろばでの活動支援

野外空間で手づくりの遊具等を用い、子どもたちがのびのびと遊ぶことができる「子どもの冒険ひろば」の開設を支援する。

< 内容 > 1団体あたり30万円以内、概ね30団体

< 地域別開設数 (R5.3末) > 96箇所

< R4実績 > 36団体に助成

< 事業例 > 公園やアスレチック施設を利用した自然遊びや秘密基地づくり  
 工作やアウトドアクッキングなどのイベント



【屋外遊びの様子(東播磨)】

## ウ ひょうごっ子・ふるさと塾事業の実施

青少年団体が、青少年のふるさと意識を醸成するため、“身近な地域での社会体験”や“豊かな自然に触れる多様な体験”を提供する取組を支援する。

<内 容> 1件あたり20万円以内、34件程度

<R4実績> 27件（「ひょうご五国巡り」や「雪国生活体験キャンプ」など）



【雪国生活体験(野外活動協会)】

## エ SDGs HYOGO 青年チャレンジ事業の実施

持続可能な地域づくりなどのSDGsの推進をはじめ、様々な地域活動に取り組む青年や地域団体、NPO等への支援を通じて青少年育成活動を担うリーダーを養成する。

<内 容> 1団体あたり40万円程度、10団体程度

## オ 体験施設の運営

### (7) 県立いえしま自然体験センター（姫路市家島町西島）の運営

瀬戸内の豊かな自然の中で、体験・実践型の多様なプログラムを実施するとともに、子どもリーダー養成講座や指導者養成講座等を開設し、「自然体験活動・海の環境学習の拠点」として運営する。

<指定管理者> 一般社団法人いえしま自然体験協会

<施設内容> 海中探検・養殖体験ゾーン  
ボランティアリーダー棟、野外炊飯場等

<利用者数>

年 度	R1	R2	R3	R4
利用者数	20,566人	10,781人	12,662人	16,391人



【カヌー体験】

<主な事業（R4年度）>

事業名	実施日	参加対象者	R4参加者数
自然と遊ぼう	7/1-2	小学4～6年生	32名
こどもヨット教室	7/15-17	小学4～中学生	17名
無人島キャンプ	8/6-11	中学生	28名
底引き網漁業体験&魚料理体験	11/11-12	一般・家族	48名

### (イ) 県立こどもの館（姫路市太市中）の運営

子育て支援機関や団体の活動の中核拠点として、遊びや創作活動を通し、子どもたちの健やかな成長を支援するとともに、多彩な事業を展開する。

<指定管理者> 公益財団法人兵庫県青少年本部

<施設内容> 多目的ホール、実習室、円形劇場  
児童図書室、工作館等

<利用者数> ※R2.12～R3.8 長寿命化改修のため休館

年 度	R2	R3	R4
利用者数	40,784人	42,489人	127,286人



【県立こどもの館】

< 主な事業 (R4 年度) >

多彩な体験活動・交流の展開	子育て力を高める支援活動の推進
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ こどもフェスティバル</li> <li>・ こどもの館劇団の養成、発表会</li> <li>・ 児童図書室や工作ひろばの企画運営</li> <li>・ 高校生等ふれあい体験ひろば (高校生等がプログラムを企画運営)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まちの子育てひろば支援事業 (小規模保育施設等への指導員派遣)</li> <li>・ 児童厚生員等各種研修会</li> <li>・ 巡回劇場 (紙芝居等を行う団体の派遣)</li> <li>・ 県児童館連絡協議会、母親クラブ等事務局</li> </ul>

(3) 課題を抱える青少年の支援 (136,911 千円)

不登校やひきこもりなどの課題を抱える青少年の社会的自立を支援するため、関係機関との連携のもと、相談対応等を行う。

ア 電話相談「ほっとらいん相談」の実施

ひきこもり当事者や家族のために、青少年のための総合相談窓口を設置する。

< 開設日時 > 月・水・土曜日 (週 3 日)  
10:00~12:00、13:00~16:00

< 連絡先 > 078-977-7555



【ほっとライン相談・地域ランチチラシ】

< R 4 実績 >

件数	内容別内訳						相談者内訳	
	ひきこもり	不登校	非行	虐待	いじめ	主訴不明	本人	本人以外
663	597	36	3	0	0	27	570 (86.0%)	93 (14.0%)

イ 地域ランチの設置

ひきこもり等の支援を行う N P O 団体等と協働で、県内 5 か所に地域ランチを設置し、電話・来所・訪問による相談支援や、研修、情報交換を通じた市町支援など、当事者にとって身近な地域でのひきこもり支援を進める。

< 設置場所 >

地域	受託団体	所在地	開設日	連絡先
阪神	(一社)いきがいがし	西宮市	火・水・木	050-3749-1227
播磨	(認特)コムサロン 21	姫路市	月~土 (第 2・4 土曜休)	079-240-6299
但馬	(特非)コウトリ豊岡・いのちのネットワーク	豊岡市	月~金	0796-26-1101
丹波	(特非)結	丹波篠山市	月・水・金	090-1900-6932
淡路	(認特)ソーシャルサ インセンター淡路	南あわじ市	月・水・金	0799-42-0399

< R 4 実績 > ※ 5 ブランチの合計

電話相談	来所相談	訪問相談	計	相談者内訳	
				本人	本人以外
1,664	2,314	343	4,321	2,858 (66.1%)	1,463 (33.9%)



## ウ ひきこもりサポーターの育成

地域におけるひきこもりの支援人材を育成するため、「ひきこもりサポーター育成研修」を実施する。

また、中級コースを修了した後、サポーター登録した者を対象に、当事者や家族との関わり方等を学ぶフォローアップ研修を各地域ランチで年1回開催する。

< R 4実績 > ※登録サポーター：177名

研修区分	対象者	研修内容	実施時期	参加人数
育成・初級	ひきこもり支援に関心のある方	ひきこもりの基礎知識等	8/31～9/14 (オンライン配信)	48人
育成・中級	初級コース修了者	ひきこもり支援の内容・方法等	9/30, 10/14	24人
フォローアップ	登録サポーター	「家族への関わり方」の講習、意見交換等	各ランチで設定	40人 (5ランチ合計)

## エ 県立神出学園・県立山の学校の運営

寮での共同生活や野外作業・ものづくり体験等を通して、ひきこもり・不登校等の課題を抱える青少年の社会的自立を支援する。



【楽器レッスン】(神出学園) 【チェーンソー実技】(山の学校)

< 施設概要 >

(令和5年4月1日現在)

区分	神出学園 (神戸市西区)	山の学校 (宍粟市)
設立	平成6年10月	平成5年1月
指定管理	H18.4.1～ ((公財)兵庫県青少年本部)	H26.4.1～ ((公財)兵庫県青少年本部)
入学時期	4月及び5～10月までの随時	4月及び5～10月までの随時
R5 在籍者数	31人	6人
対象	県内在住の義務教育を修了した23歳未満の男女	県内在住の義務教育を修了した24歳未満の男子
内容	○屋内活動 (調理・手芸・音楽等) ○農作業体験や動物とのふれあい ○心理カウンセラーによる個別対応 ○学習指導を通じた進路選択支援	○林業体験等を通じた人づくり ○野外活動等による仲間づくり ○職場体験等を通じた進路選択支援
在籍期間等	2年以内 (最大1年延長可) 全寮制	1年以内 (最大1年延長可) 全寮制
R4 修了者	23人	4人
体験プログラム (R4実績)	○1日交流体験プログラム (参加者数:171人) [中学生～概ね40歳までの男女] ○オープンかんで (参加者数:16人) [小・中学生の男女]	○体験入学 (参加者数:7人) [15～25歳程度の男女] ○チャレンジ体験 (参加者数:2人) [概ね39歳までの男女] ○「トライやる」チャレンジ体験 (参加者数:2人) [中学生の男女]

## オ 「ひょうごユースケアネット推進会議」の運営

保健、医療、福祉、教育、雇用等に関係する32機関で構成し、社会生活を営む上で困難を有する青少年の支援に係る情報交換や連携による支援を実施する。

## 4 青少年を守り育てる活動の推進

青少年愛護条例のもと、地域、学校、事業者、保護者等が一体となって、青少年を守り育てる活動を展開するとともに、青少年のインターネット利用対策を推進する。

### (1) 青少年愛護活動の展開（30,689千円）

青少年愛護活動推進員による立入調査や業者指導等を通じ、青少年愛護条例の適正な運用を図り、青少年を取り巻く良好な環境づくりを推進する。

#### ア 青少年を取り巻く有害環境実態調査

青少年の健全な育成に悪影響を及ぼすおそれのある営業を対象に、県民局・県民センター等に設置した青少年愛護推進員が調査や業者指導を行い、市町や学校等に情報提供する。

< R4年取組状況 > ※ 毎年12月末時点で把握集計

区分	図書類 販売店	ビデオ レンタル店	玩具類 取扱店	カラオケ ハウス	JKビジネスに 繋がるおそ れのある店	ネット カフェ	携帯電話 販売店	計
調査対象 店舗数	2,396	72	467	139	121	42	564	3,801
うち有害 環境該当	242	72	324	139	16	42	564	1,399

※ 図書类等自動販売機、利用カード等自動販売機はいずれも0件

#### イ 青少年育成スクラム会議の開催

兵庫県青少年を守る店連絡協議会をはじめ事業者、青少年育成団体等51団体が参画し、青少年健全育成の課題・方策、非行・被害防止等について協議を行う。

< 全県会議 > 令和5年7月3日(月)

< 地域会議 > 県下10地域で各2回以上、R4実績：50回

#### ウ 市町の取組支援

青少年の保護・非行防止を図るため、研修会等の開催を通じて、市町による青少年補導活動を支援する。

- < 内 容 >
- ・青少年補導センター研修会：所長対象（年1回）
  - ・青少年補導センター連絡会議：職員対象（年1回）
  - ・補導委員研修会：補導委員対象（ブロックごとに1回）

< 市町の体制（R5.3末） >

区分	センター数・人数	内容
青少年補導センター	29センター	いじめや不登校、非行等に関する悩み相談、街頭補導活動や見守り、青少年を有害な情報や環境から守る取組等を実施
青少年補導委員	3,331人	市町長等が委嘱した民間有志のボランティアで、街頭補導活動を行う。

## (2) 青少年のインターネット利用対策の推進 (7,816 千円)

過度なネット利用による健康面への影響や犯罪被害を防止するため、青少年が自ら考えるワークショップ等の開催、スマホ等利用に関するガイドラインを活用した啓発等、年齢層に合わせた幅広い取組を展開する。

### ア 青少年自らの取組への支援

#### (7) 全県ワークショップの開催

子どもたち自身が対応策を考え、発表し合う「ひょうごネットトラブル防止ワークショップ」を開催する。

<R4実績> 2回 中高生32名が参加

<R5予定> 令和5年10月1日、12月10日 中高生約30名

#### (4) スマホサミット in ひょうごの開催

家庭・学校・地域の関係者がスマホやインターネットとの上手なつきあい方について青少年とともに考え、学び、取り組みの輪を広げる全県大会を開催する。

<R4実績> 参加団体6団体、参加者数219名  
(会場107名、オンライン112名)

<R5予定> 令和5年12月10日

<内 容> 参加団体の取組発表、パネルディスカッション等



【スマホサミット in ひょうご】

### イ 適切なインターネット利用に向けた啓発、スマホ・ネット依存対策の推進

#### (7) スマホ等の適切な利用に向けた啓発

ネット広告や啓発動画を作成・配信し、集中的に啓発する。

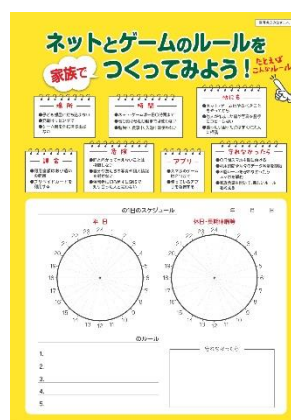
- ・親子でスマホの使い方を考えるためのワークシートを配布

<配付対象> 県内全小学1年生

<部 数> 6万部



【ネット広告】



【ワークシート「ネットとゲームのルールを家族で作ってみよう！」】



#### (イ) オフラインあそび塾（青少年本部自主事業）

インターネット利用が低年齢化していることから、あそびや工作などの体験活動を通してネットやゲームとのつきあい方を考えるワークショップを開催する。

＜実施回数＞ 全5回

＜対 象＞ 小学生以下の子どもとその保護者（公募・各回20組程度）

＜内 容＞ 子ども向け：あそびや工作等の体験活動、安全な使い方学習会等  
保護者向け：専門家による講義、保護者同士の意見交換等

#### (ウ) 「人とつながるオフラインキャンプ2023」の実施（青少年本部自主事業）

ネット利用を見直したい青少年（小学5年～18歳以下）を対象に、ネットから離れて自然とふれあい、日常生活を見直すきっかけとするキャンプを実施する。

また、ネット依存の実態や回避方法等を調査・研究し、県民に普及・啓発する。

＜実施場所＞ 県立いえしま自然体験センター他

＜R4実績＞ 18名参加（小学生4名、中学生11名、高校生3名）



【家族会】



【ワークショップ】



【キャンプファイヤー】

＜R5予定＞ 参加者数20名程度

### ウ 事業者や関係機関との連携による取組

#### (7) インターネット利用に関する調査の実施

県内小中高生（約2万名）とその保護者を対象に、ネットの利用状況や健康面への影響、トラブル経験の有無、依存傾向等を調査・分析する。

#### (イ) 携帯電話事業者との連携によるフィルタリング利用の推進

携帯電話事業者等で構成する「青少年のインターネット利用対策戦略会議」における事業者との意見交換により、携帯電話契約時のフィルタリング契約の促進や、安全なネット利用に向けた新たな取組を推進する。

【県内18歳未満の者が使用する携帯電話契約時のフィルタリング率】

H29年度：59.1% → R4年度：83.3%

#### (ウ) ネットトラブル防止大作戦推進会議の実施

警察、教育委員会、PTA、青少年団体、マスコミ等で構成する推進会議において、安全安心なインターネット利用に向けた効果的な取組や、新たな課題への対応を検討し、各団体の活動に反映・推進する。（年3回予定）